

夜間学校ニュース

1987年9月4日
西成区萩之茶屋2の
8の9 旅路の里気付
釜ヶ崎夜間学校

在日朝鮮人・韓国人の
指紋押なつ拒否断固支持！
定住外国人に市民権を

ついに自殺者も!?

あいらん 取安の不条理な手帳取上げ

先週の夜間学校ニュースで、取安に手帳を取り上げられて、仲間が急増していることを書いた。それについて、二人の仲間の意見を紹介する。

先週の夜間学校ニュースは都合により、朝に配ったのだが、その時、おしりのポケットにハツカリーを差した仲間が意見を伝えてくれ

た。二、千ヤン、二人なこと書いててもしようがないので、もつと具体的にやな、要求署名を集めるとかせな、わし、いつでも署名に協力するで、もう一人の仲間は、夜の市民館、夜間学校が開かれて、二人なやさしいこと書いて

てる場合やないで、手帳取り上げられて、ドヤで首下って自殺したやつもあるんやで、そりや、手帳取上げだけが原因やないかも知れん、五十半を過ぎて、仕事に行きにくいとか、色んなことがあったんやろうけど、やっぱり、直接には手帳のことやで、手帳さえ取上げられなかつたら、最悪でも生きていけるんやから、自殺するてこまで、追いつめられへんかつたやろと思つわ。

九月三日の読売新聞、夕刊によれば、労働福祉センターが把握している求人数は、この時期としては過去にない記録（もちろん多いほうで）になっているという。では、手帳取り上げになつても、仕事に行けばよいで話はすむか、といえ、やはりそうではない。一つには、なぜ、働いたものが、働いた現場を一つ説明しなければならぬのか、理由と根拠が明らかでないのに、取安がゴリ押しする不条理、また、年中仕事があるという状態が保障されていらないこと。筆では、法的にはどうも、アブレが時として生活保護の役割を果たす、それは認められ

みんなでつくろう

みんなの会館

三人よれば何とかの知恵

釜ヶ崎夜間学校

毎週金曜日

夜七時より

市民館三階

手帳取り上げを考える

「原因はそれだけではないかも

「原因はそれだけではないかも

八月も末になって、またまた暑さがずいぶんかえして

にはなれ

きたようです。気温の変化とは別に、重く暑苦しく

んで

感じさせるのが、アブシの返還要求の詰、五万

「はじめ

近くの金を返すことなど出来るものでしょうか。

から手元

「やっぱり、あのパンフを読ん

鉄筋屋のホシタイで

ただけではどうしようもないで

いったけど、

昨日も現場にいってたらポンと

まて半年はかかった。実際の経

面を渡された。これ見てやって

験がないとやっぱり

くれというわけや。

こみにくいな

「ぶつうはボーションが来て、ア

「このどうの加工の仕方

しせえ、コレせえと言うもんや

には猫に小判やろな

けどな。

「釜にはフオークリフト

「函面を見て、仕事の段取りを

の講習はあっても鉄筋屋

考えることができると一人前の

い。仕事はよっぽど多い

職人とは言えんけどな。

「話ヤレ

「ワシは飯村大工やけど、中学

「話ばかりかめるけど、

卒業して二年間、訓練所に行

あげられて、自殺した人

った。それから親方のところに

らしいな

弟子入りや。そうせんと一人前

「そのまま来てるんか

れんけど、第三者的に見て、手

「ヤミ印紙をなくすため

「ヤミ印紙自体は、金融屋が

「ヤミ印紙屋というのもあ

「ヤミ印紙をなくすため

「ヤミ印紙自体は、金融屋が

「ヤミ印紙屋というのもあ

「一番わかっくんのは、ワシ

窓口に呼びつけられてさん

「ヤミ印紙屋というのもあ

「ヤミ印紙屋というのもあ

「ヤミ印紙屋というのもあ

「ヤミ印紙屋というのもあ

「ヤミ印紙屋というのもあ

「ヤミ印紙屋というのもあ

「ヤミ印紙屋というのもあ

「ヤミ印紙屋というのもあ

「ヤミ印紙屋というのもあ

「ヤミ印紙屋というのもあ

「ヤミ印紙屋というのもあ

「ヤミ印紙屋というのもあ

「ヤミ印紙屋というのもあ

「ヤミ印紙屋というのもあ

「ヤミ印紙屋というのもあ

「ヤミ印紙屋というのもあ

「ヤミ印紙屋というのもあ

「ヤミ印紙屋というのもあ

「ヤミ印紙屋というのもあ

「ヤミ印紙屋というのもあ

「ヤミ印紙屋というのもあ

「ヤミ印紙屋というのもあ

「ヤミ印紙屋というのもあ

「ヤミ印紙屋というのもあ

「ヤミ印紙屋というのもあ

「ヤミ印紙屋というのもあ

「ヤミ印紙屋というのもあ

「ヤミ印紙屋というのもあ

「ヤミ印紙屋というのもあ

「ヤミ印紙屋というのもあ

「ヤミ印紙屋というのもあ

「ヤミ印紙屋というのもあ

「ヤミ印紙屋というのもあ

「ヤミ印紙屋というのもあ

「ヤミ印紙屋というのもあ